

2024 全国遭難対策担当者会議 参加報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

日時：2024年7月6日（土）13：00～7日（日）12：00

場所：全国連盟1階会議室

参加：38名（スタッフ6名を含む）

全国から24都道府県連の代表が参加して開催されました。

会議プログラムは以下のとおりです。

7月6日

- ・2022年から2023年の事故統計から
- ・講義「安全・快適・健康的な生涯登山を実現するための3つのポイント」
- ・事故事例報告

7月7日

- ・コンパス登山届の現状と使い方
- ・各地方連盟の状況報告

各プログラムのトピックを紹介します。

(1)2022年から2023年の事故統計から（労山）

- ・2023年の事故者数は過去最多となったが、2024年はさらに増加している。
- ・女性の事故者が大幅に増加した。
- ・事故者の高齢化がさらに進んでいる。

(2)講義「安全・快適・健康的な生涯登山を実現するための3つのポイント」

労山顧問 山本正嘉氏より山での上手な歩き方と普段からのトレーニングの提言があった。

① 歩き方を見直してみよう

疲れにくいペースでゆっくり歩く。

② トレーニング方法を見直してみよう

ウォーキングは登山のトレーニングにはならない。

③ 登山者の体力の最大の弱点は筋力不足

持久力より筋力、筋力を強化するには登山に行くだけでは不十分。

これらの提言は、多くの観察・実験データから導き出されたものであり、説得力のある話だった。著書「登山と身体の科学 運動生理学から見た合理的な登山術」が発行されている。

(3)事故事例報告

主として死亡事故が報告された。

① 広島県連 39歳女性

道迷い後、リーダーが張った6mmロープを、手を伝って斜めに下降中に足を滑らせて滑落。

② 兵庫県連 73歳男性

ハイキングコースで道迷い後、疲労遭難と思われる。4か月後に発見されている。

③ 埼玉県連

1件目 61歳男性

劔岳にて3人パーティの3番目の人が転落、手にした岩の剥離と思われる。

2件目 70代男性

日和田山のロッククライミング中、最上部クラックから転落。リード途中のクリップを省略していた。

(4) コンパス登山届の現状と使い方

コンパスを開発・運営しているインカム(株)今吏靖社長からの説明があった。コンパスは36都道府県と連携しているとのこと(千葉県も含まれる)。

私は2年前にコンパスを実際に使って評価しており、会の山行管理で使用するには下記機能不足を指摘すると、最新版で再評価してほしいとの回答であった。

- ・計画書の承認行為ができない。
- ・宿泊登山において、途中状況の報告ができない。

茨城県連はコンパスを採用しており、会の計画書をコンパスに添付して運用しているとのこと。やはり二度手間となっている。

(5) 各地方連盟の状況報告

会員数2014人の兵庫県連から各種事故統計の説明があったが、事故率は会員数だけで計算しており、山行数を考慮していないので、正確ではないとの指摘が出ていた。

今回の参加で、千葉県連のオンライン講習会に兵庫県連大杖理事長と労山顧問山本氏のご協力が得られたことが大きな成果でした。 以上



山本氏の講義



懇親会